



# 2020年度 環境経営レポート

対象期間：2019年9月～2020年8月



## MIYAMA

株式会社 みやま

2020年10月1日 発行

## 目次

|                    |    |
|--------------------|----|
| 1. SDGsへの取り組み      | 2  |
| 2. 組織の概要           | 6  |
| 3. EA21実施体制        | 7  |
| 4. 環境経営方針          | 8  |
| 5. 当期環境目標及び中期目標    | 9  |
| 6. 環境目標達成の状況       | 10 |
| 7. 環境目標達成のための計画と実績 | 14 |
| 8. 環境法規への違反・訴訟の有無  | 18 |
| 9. 代表者による全体の評価と見直し | 19 |
| 10. 環境活動への取り組み     | 20 |

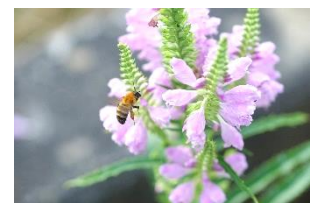


## はじめに

当社は、1947年の創立以来73年にわたりプラスチックの金型製作と射出成形に取り組んで参りました。1995年から「世界中のどこに行ってもPPSという樹脂名が出た時に日本に『みやま』があると、言っていただける企業になる!」というビジョンを掲げ、金属の代替樹脂であるPPS(ポリフェニレンサルファイド)の成形技術を確立・商品化、さらに最近はお客様のご要望を受けて完成品の商品開発にも取り組みはじめており、コロナ禍においても業容は拡大基調にあります。

国際化が進む中、日本に土台を据え、固有の技術をしっかりと社内に培い、次の世代に受け継ぐためには、環境保護と生産活動が合致する取り組みが不可欠とのことで、エコアクション21の維持・改善活動を継続して参りました。業容が拡大する中で、今期長野県SGDs推進企業に認定頂き、エコアクション21で要求されている環境指標への活動は勿論のこと、経営方針・目標の達成が最終的にはCO<sub>2</sub>削減に役立つとの視点から方針管理の側面にも活動の幅を広げ、環境保護活動を益々充実させているところです。

今後も環境に優しいものづくりを通じて社会貢献していくとの強い想いをベースに、この活動を強化・継続していく所存です。



表紙写真「ハナトラノオの蜜を吸う  
トラマルハナバチ」  
撮影: 組立検査係 湯田坂修二

## 1.SDGsへの取り組み

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、事業活動を通じてより良い未来の実現に貢献してまいります。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



**SDGs**  
REGISTERED PARTNER  
NAGANO PREFECTURAL  
GOVERNMENT

2019年7月、株式会社みやまは長野県SDGs推進企業（第1期）に登録されました。

※長野県SDGs推進企業とは  
県内企業等がSDGsと企業活動との関連について「気付き」を得るとともに、具体的なアクションを進める「登録」制度です。



## みやま SDGsへの貢献

|                                  |                              |                                                                                                       |
|----------------------------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>12 つくる責任<br/>つかう責任</p>        | <p>13 気候変動に<br/>具体的な対策を</p>  | <p><b>CO2排出量の削減</b><br/>本来業務の改善による品質向上・不良削減を行い、製造工程において排出されるCO<sub>2</sub>単位売上当りの排出量の削減に努めます。</p>     |
| <p>7 エネルギーをみんなに<br/>そしてクリーンに</p> | <p>9 産業と技術革新の<br/>基盤をつくる</p> | <p><b>金属から樹脂への置き換え</b><br/>金属代替樹脂であるPPS材料の成形に高い技術力を持つ当社の強みで、自動車部品等への採用で軽量化と燃費向上に貢献し、経済性と環境に貢献します。</p> |
| <p>4 質の高い教育を<br/>みんなに</p>        | <p>8 働きがいも<br/>経済成長も</p>     | <p><b>人財育成</b><br/>すべての従業員に学ぶ機会を提供し、個々人が自ら成長する喜びを感じられる職場作りを行います。</p>                                  |



# 1.SDGsへの取り組み

## SDGs個人目標の設定

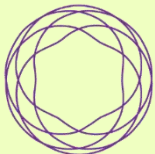
## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

| 写真 / 氏名                                                                                   | 私のSDGs 目標         | SDGsアイコン                                                                          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| <br>アニス   | 1. 不良品を作らない       |  |
|                                                                                           | 2. ごみを分別してリサイクルする |  |
|                                                                                           | 3. エコバッグを使う       |  |
|                                                                                           | 4. 食べ物をムダにしない     |  |
|                                                                                           | 5. 家庭で家事をする       |  |
| 写真 / 氏名                                                                                   | 私のSDGs 目標         | SDGsアイコン                                                                          |
| <br>長嶺 太平 | 1. 不良品を作らない       |  |
|                                                                                           | 2. より多くの資格を取得する   |  |
|                                                                                           | 3. もっと自炊する        |  |
|                                                                                           | 4. 野菜をもっと食べる      |  |
|                                                                                           | 5. ムダな買い物をしない     |  |



～より良い未来の実現に向けて“私”ができること～  
 他社の事例を参考に、従業員ひとり一人が取り組むSDGs目標を立てました。  
 個人目標を意識して達成に向けて取り組んでいます。  
 ひとり一人の小さな行動や心掛けが  
 「持続可能な社会」に向けて世界を変える大きな力になります！

## 地域未来牽引企業・ユースエール認定



地域未来牽引企業



当社は地域経済への影響力が大きく成長性が見込まれるとともに、地域経済のバリューチェーンの中心的な担い手、および担い手候補である企業として、経済産業省より「地域未来牽引企業」に選定されました。

2019年12月、ユースエール認定企業に認定されました。

※ユースエール認定制度とは  
 若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する制度です。



# 1.SDGsへの取り組み



## 会社の緑化・野菜の栽培



たくさんの  
カボチャと  
ひまわりの種が  
収穫できたよ

敷地内に木や花を植える、グリーンカーテンを作るなど、緑化を進めています。  
今年は敷地に畑を作り、ひまわり、カボチャ、サツマイモ等を育てました。

## SDGsアイコンの掲示



工場入口



トイレ



記録ファイル

アイコンの掲示で  
SDGsが身近に  
感じられるね！

## エコドライブ



社用車へドライブレコーダーを導入しました。走行状況や燃費に関するデータの収集により、効率性・安全性の向上に努めます。

|           |        |            |        |
|-----------|--------|------------|--------|
| 記録時間      | 02:20  | 走行時間       | 00:56  |
| 開始時距離(km) | 8744.1 | 終了時距離(km)  | 8774.1 |
| アイドリング    | 00:05  | 最高速度(km/h) | 68.0   |

|   | 時刻           | 状態 ▼   | 所要時間 | 移動距離(km) | 活動   |
|---|--------------|--------|------|----------|------|
| 1 | 8:58 : 9:20  | 走行     | 22分  | 13.2     | 長野県茅 |
| 2 |              | 停止     | 17分  |          | 長野県伊 |
| 3 | 9:36 : 9:51  | 走行     | 15分  | 8.0      |      |
| 4 | 9:51 : 9:55  | アイドリング | 5分   | 0.0      | 長野県茅 |
| 5 | 9:55 : 10:06 | 走行     | 10分  | 5.5      |      |

走行情報画面



## 1.SDGsへの取り組み

## 品質方針



金属の悩みを樹脂で解決！

私達は世界の幸せな未来に貢献します。

## 1. 顧客優先

社是・社訓に基づき、時流の変化を先読みし、顧客の厳しい要求に挑戦し続ける。



## 2. 品質至上

より確かな、より高い精度の要求に応えるため、常に“品質第一”を念頭に置いて行動する。



## 3. 人材の育成

社員一人ひとりの持つリソースに着目し個性を伸ばし、人間性豊かな人財を育成する。



## 4. 継続的改善

業務を楽にたのしくする品質マネジメントシステムを構築し、顧客満足の向上を図れる改善を継続的に実施していく。



## 5. 品質目標

年度ごと、時節に合った品質目標を設定し、PDCAを回し続けることにより、効果的な達成を目指す。



2019年6月25日

MIYAMA

代表取締役社長 百瀬真希



## 2. 組織の概要

- 会社名 株式会社みやま
- 所在地 長野県茅野市ちの176-5
- 代表者名 代表取締役社長 百瀬 真希
- 環境管理責任者 専務取締役工場長 百瀬 幸男
- 連絡先 TEL 0266-72-3178  
FAX 0266-73-5473  
E-mail miyama@miyama-gr.co.jp
- 事業内容 プラスチック射出成形



- 認証の対象範囲 本社・本社工場

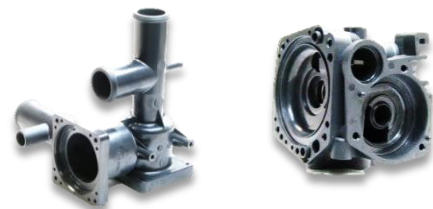
- 事業規模

| 2020年度（57期） |                    |
|-------------|--------------------|
| 売上額         | 8億5000万円           |
| 従業員数        | 60名                |
| 延床面積        | 3239m <sup>2</sup> |
| 敷地面積        | 4171m <sup>2</sup> |



MIYAMA

本社・本社工場



PPSは金属の代替樹脂として誕生、耐薬品性を有し、強度も高い為、水周りのバルブ等に使用されています。

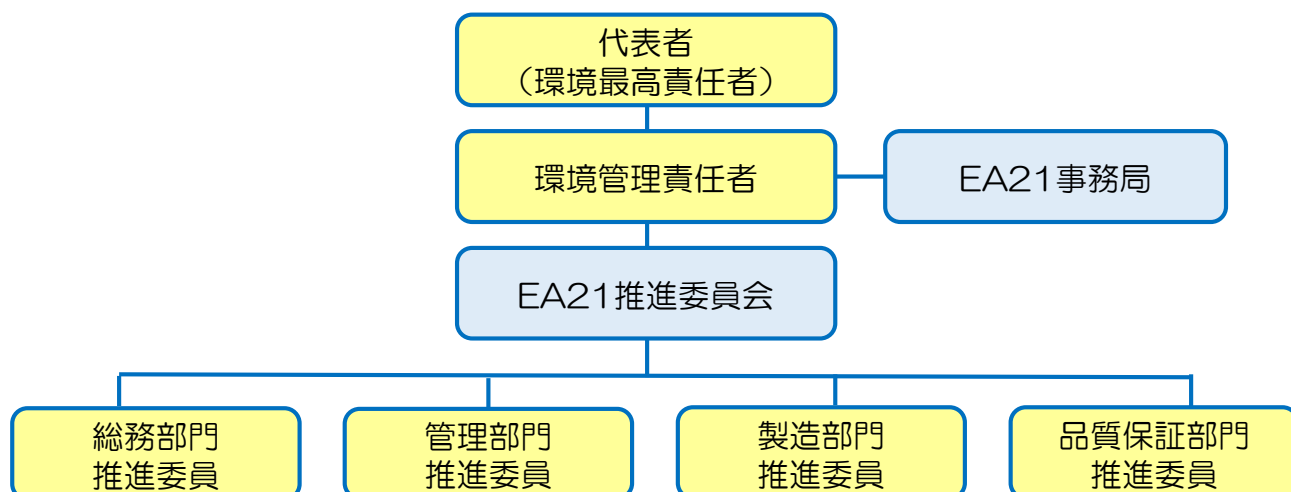
グループ会社



- 会社名 バーズィスジャパン株式会社
- 事業内容 金型設計・製造



### 3. EA21実施体制



| 役職・組織名       | 役割・責任・権限                                                                                                                     |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 環境最高責任者      | ①環境方針を策定し、全員に周知する<br>②環境経営全般に関して、責任と権限を持つ<br>③EA21の全体の評価と見直しを行う<br>④環境管理責任者を定め、必要な責任者を任命する                                   |
| 環境管理責任者      | ①EA21の取組みの実行責任者として活動を進める<br>②環境推進委員会の招集を指示し、審議事項の承認<br>③緊急事態対応訓練の計画を指示し、実施記録の承認<br>④法規制等の遵守状況の管理                             |
| エコアクション21事務局 | ①EA21環境活動計画を作成し、実行を進める<br>②環境への取組の自己チェックを実施する<br>③環境会議を隔週に行い、状況の把握、見直し、記録集計する<br>④環境管理責任者、実施部門と連携し、問題点等を会社に周知する              |
| 総務部門推進委員     | ①グリーン購入比率の向上を進める<br>②会社周辺地域の環境維持活動に積極的に参加する<br>③紙の使用削減に努める<br>④冷暖房の効率化を進める                                                   |
| 管理部門推進委員     | ①必要に応じた材料、資材の効率的な購入に努める<br>②社有車輛の維持管理及び燃料の削減に努める                                                                             |
| 製造部門推進委員     | ①不良率を減らすことにより、材料購入の低減と廃ブラの削減をはかる<br>②生産の効率化(ショット数・稼働率の向上)による電力量削減を進める<br>③冷房効率を高めLPGの削減に努める<br>④化学物質削減、上水道の有効活用及び水使用量の削減に努める |
| 品質保証部門推進委員   | ①客先クレーム、社内不具合発生件数の集計と低減をはかる<br>②ペーパーレス化の推進<br>③サンプルの保管期限と管理方法の仕組を構築する<br>④省資源、省エネに努める                                        |



## 4. 環境経営方針

### 〈基本理念〉

当社はハヶ岳に抱かれ、縄文時代から続く歴史と文化、そして諏訪湖を臨む素晴らしい自然環境に恵まれた地域に立地しています。

この地に生活していた多くの人々が守り育ててきた環境を未来の子供達に引き継げる様に、環境にやさしいものづくりを行います。

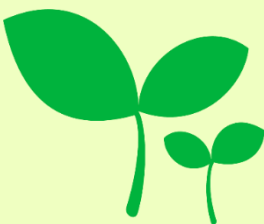
本来業務の改善を通して、高い【環境品質】を作りだし、CO<sub>2</sub>の削減に取り組むことで、当社に関わる全ての皆様の【満足度】を高め、社員一人一人の健康で豊かな生活の実現を図り、社会の持続可能な発展に貢献します。

### 〈環境行動宣言〉

株式会社みやまは地球環境の保全が経営の重要課題であると認識し、全員参加で事業活動と環境保全の両立に取り組めます。

### 〈環境行動方針〉

1. 納期を遵守し、効率的な生産を追求することで、二酸化炭素・資源及びエネルギーの削減に努めます。
2. 全員参加の5Sと改善活動を継続的に行うことで、生産性向上、品質向上をはかり、本来業務と環境保全を一体のものとします。
3. 環境法規・協定を遵守し、環境への意識向上を図り地域社会に貢献します。
4. 環境方針を定め全社員に周知すると共に、環境への取り組みを環境活動レポートとして情報開示し、社会とのコミュニケーションに努めます。
5. グリーン購入・グリーン調達を積極的に進めます。
6. 全社員への定期的な環境教育を行い環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。



制定日 2010年9月1日

改定 2017年9月1日

株式会社みやま

代表取締役社長

百瀬真希

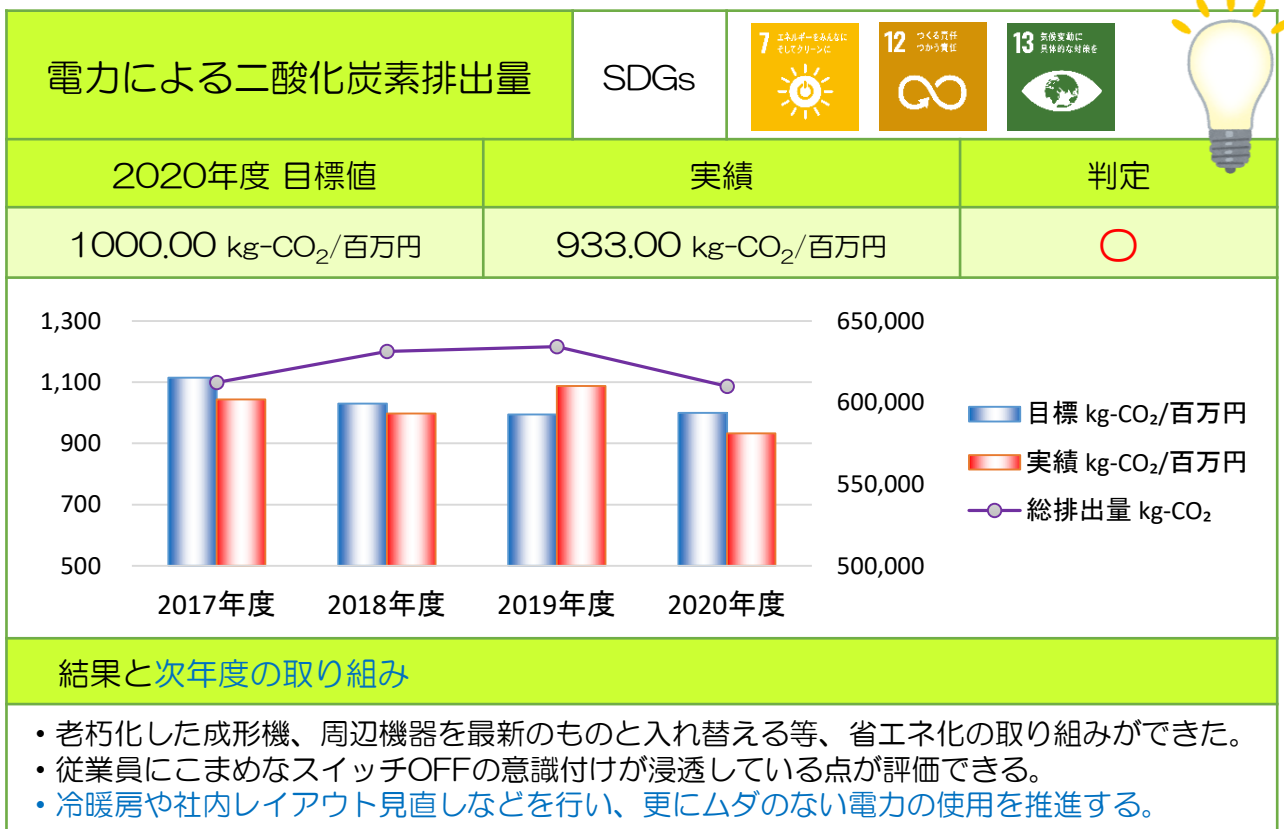
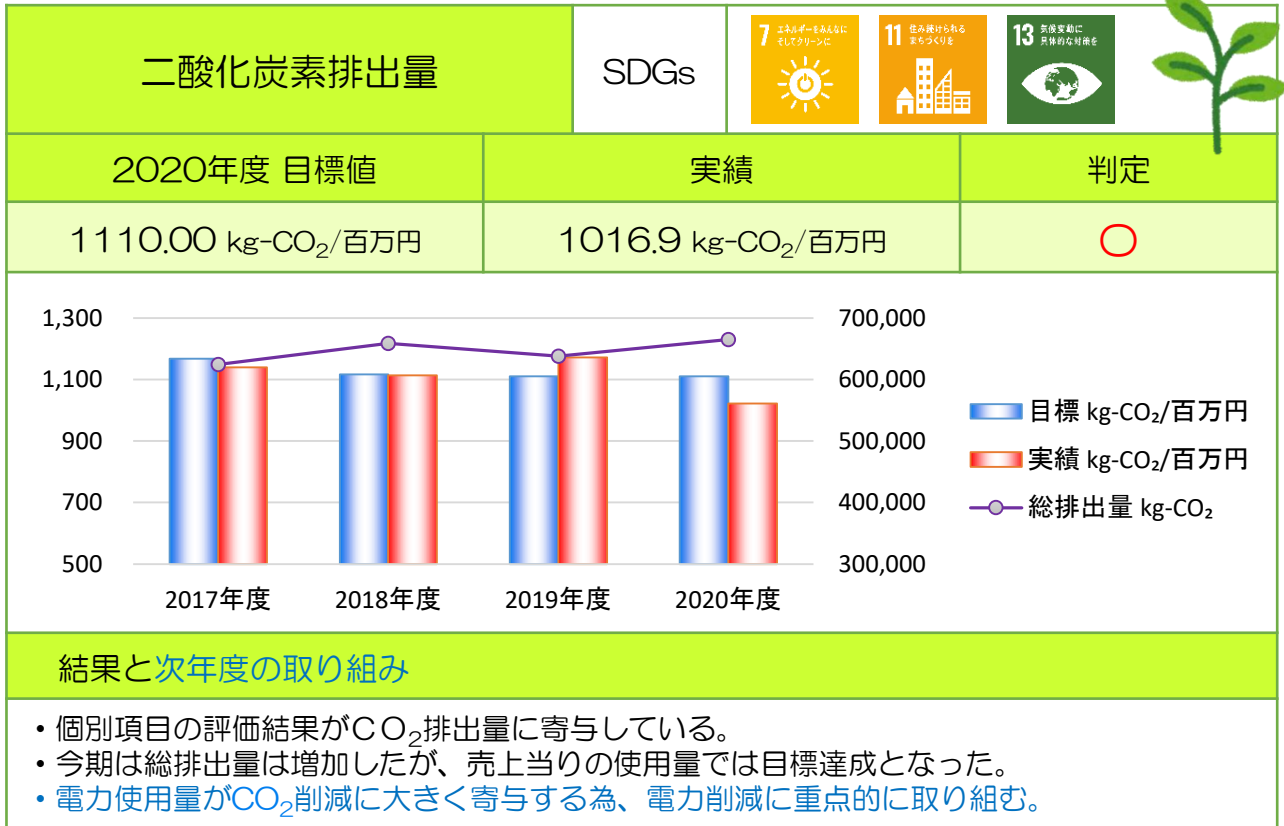
## 5. 当期環境目標及び中期目標

- 2017年度を基準年度に再設定し、管理しています。また、2019年8月に中部電力より公開されたCO<sub>2</sub>排出係数（0.452 kg-CO<sub>2</sub>/kWh）に基づき、CO<sub>2</sub>排出量を計算しています。
- 目標値は売上100万円当たりの使用/排出量 としています。

| 項目                                                        |                         | 年度 | 2017年度<br>(基準年度)      | 2020年度<br>(当期目標値)     | 2021年度                | 2022年度                |
|-----------------------------------------------------------|-------------------------|----|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| CO <sub>2</sub><br>排出量の削減                                 | kg-CO <sub>2</sub> /百万円 |    | 1140.02               | 1110.00<br>▲2.63%     | 1110.00<br>▲2.63%     | 1110.00<br>▲2.63%     |
| 電力による<br>CO <sub>2</sub> 排出量の削減                           | kg-CO <sub>2</sub> /百万円 |    | 1044.24               | 1000.00<br>▲4.24%     | 950.00<br>▲2.63%      | 950.00<br>▲2.63%      |
| LPGによる<br>CO <sub>2</sub> 排出量の削減                          | kg-CO <sub>2</sub> /百万円 |    | 21.29                 | 29.00<br>+36.24%      | 40.00<br>+87.92%      | 40.00<br>+87.92%      |
| ガソリンによる<br>CO <sub>2</sub> 排出量の削減                         | kg-CO <sub>2</sub> /百万円 |    | 21.20                 | 22.00<br>+3.76%       | 22.00<br>+3.76%       | 22.00<br>+3.76%       |
| 軽油による<br>CO <sub>2</sub> 排出量の削減                           | kg-CO <sub>2</sub> /百万円 |    | 2.94                  | 2.55<br>▲13.33%       | 2.60<br>▲11.63%       | 2.60<br>▲11.63%       |
| 灯油による<br>CO <sub>2</sub> 排出量の削減                           | kg-CO <sub>2</sub> /百万円 |    | 44.60                 | 50.00<br>+12.12%      | 40.00<br>▲10.31%      | 40.00<br>▲10.31%      |
| 水道<br>使用量の削減                                              | m <sup>3</sup> /百万円     |    | 0.64                  | 0.58<br>▲9.53%        | 0.60<br>▲6.41%        | 0.60<br>▲6.41%        |
| 廃プラ<br>排出量の削減                                             | kg/百万円                  |    | 16.01                 | 20.00<br>+24.93%      | 20.00<br>+24.93%      | 20.00<br>+24.93%      |
| 可燃物<br>排出量の削減                                             | kg/百万円                  |    | 0.59                  | 0.65<br>+9.69%        | 0.60<br>+1.25         | 0.60<br>+1.25         |
| 化学物質<br>使用量の削減                                            | ℓ/百万円                   |    | 0.47                  | 0.47<br>▲0.13%        | 0.40<br>▲15.00%       | 0.40<br>▲15.00%       |
| * グリーン調達                                                  | グリーン商品<br>購入比率          |    | —                     | 90%以上<br>維持管理         | 90%以上<br>維持管理         | 90%以上<br>維持管理         |
| 環境美化活動<br>春－上川土手清掃（上原区主催）<br>夏－清水川清掃（飯島区主催）<br>上川 江川橋清掃活動 |                         |    | 2回参加<br>1回参加<br>月1回実施 | 2回参加<br>1回参加<br>月1回実施 | 2回参加<br>1回参加<br>月1回実施 | 2回参加<br>1回参加<br>月1回実施 |

## 6. 環境目標の達成状況

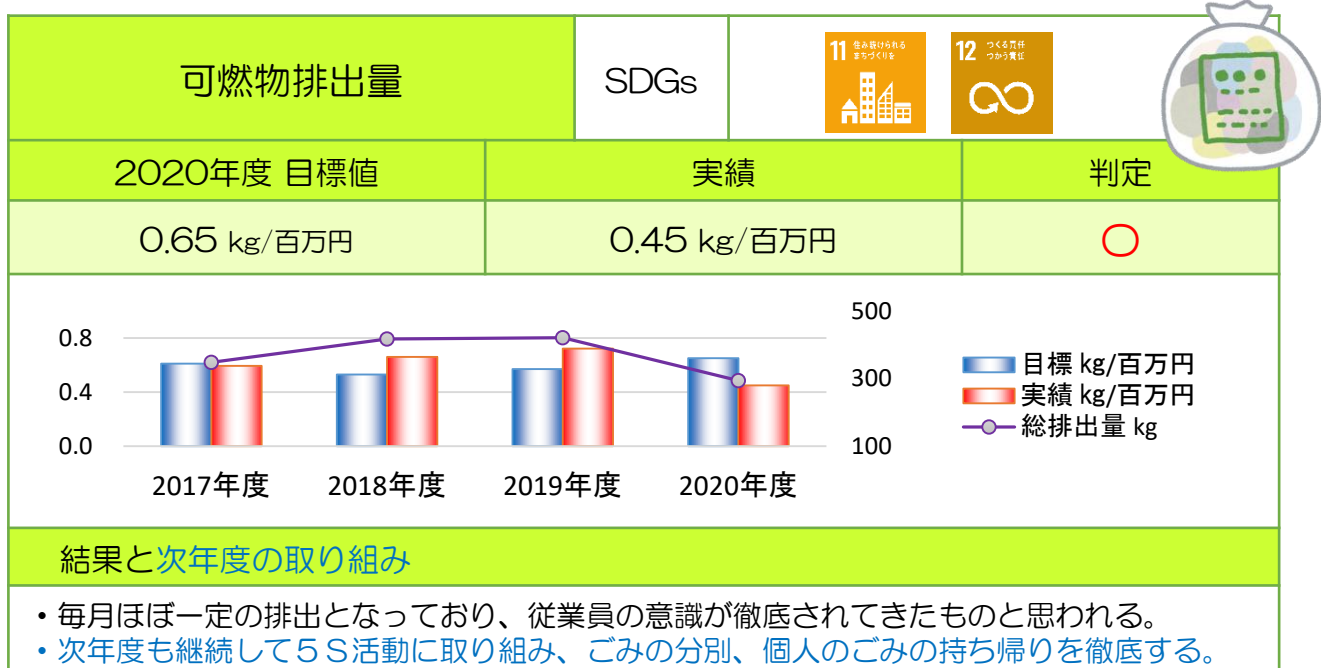
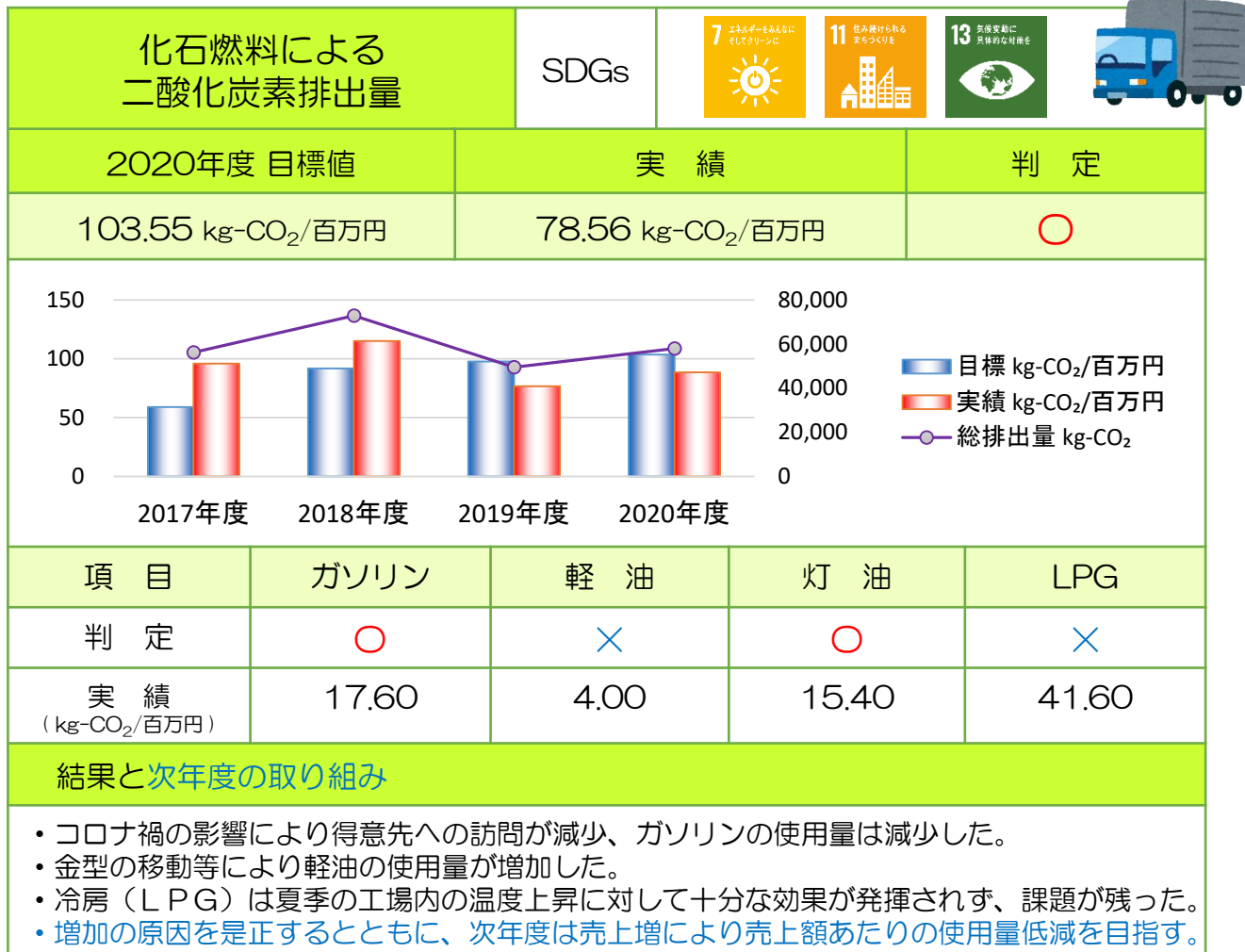
【評価基準】 目標達成 = ○  
目標未達成 = ×





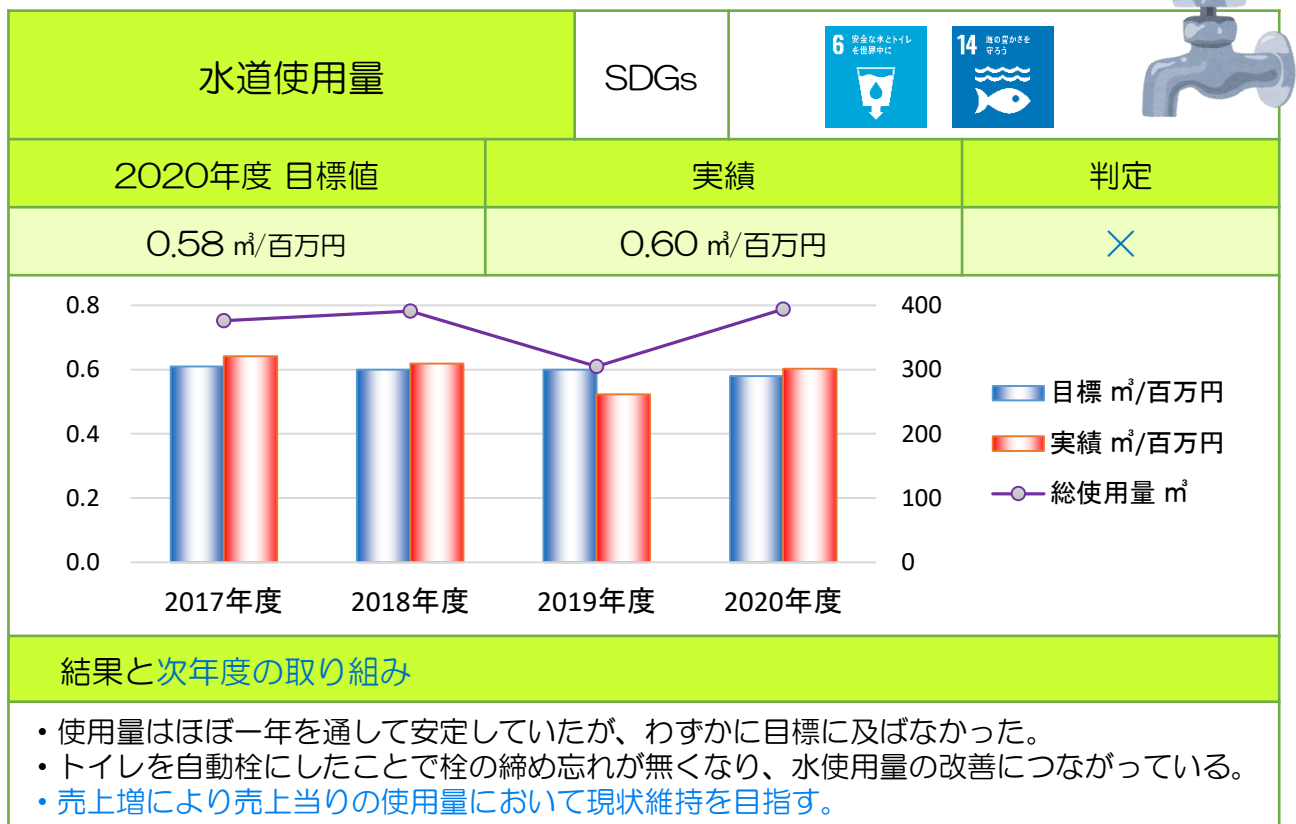
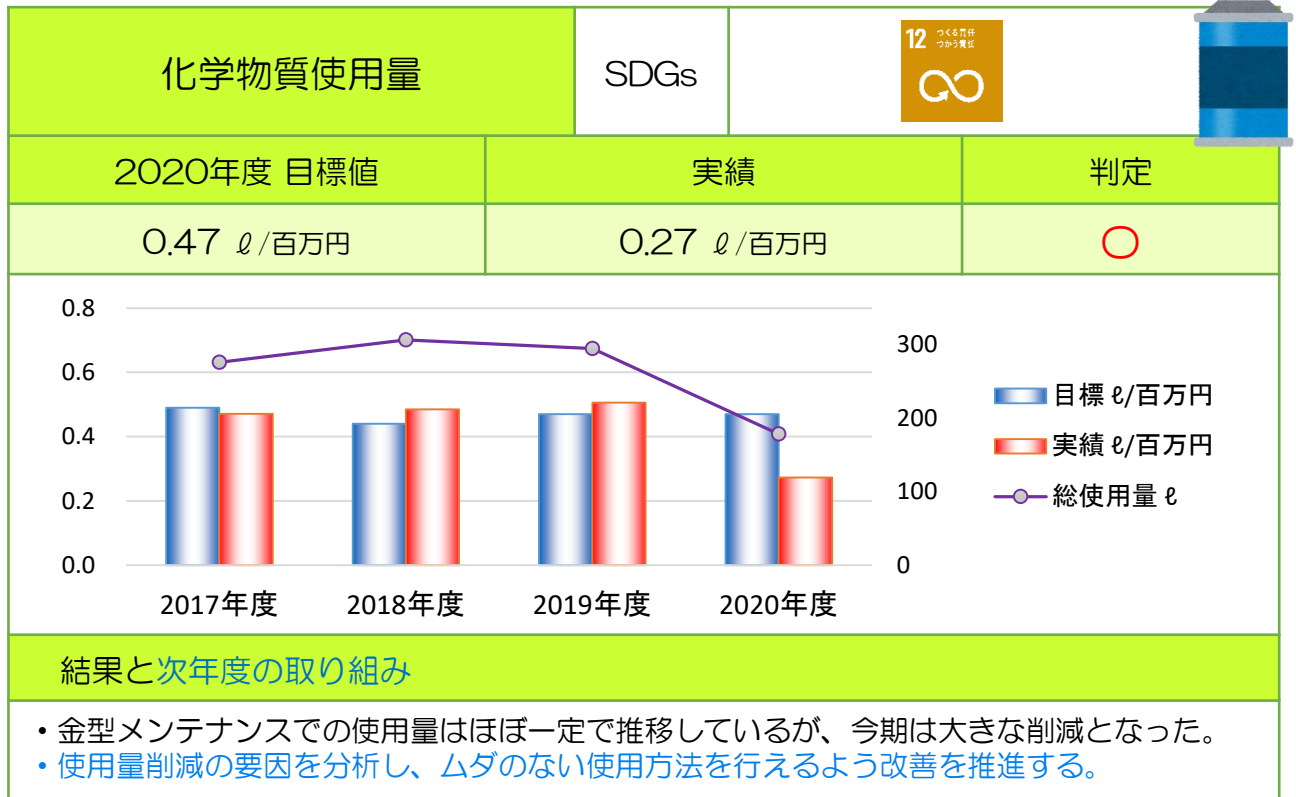
## 6. 環境目標の達成状況

【評価基準】 目標達成 = ○  
目標未達成 = ×



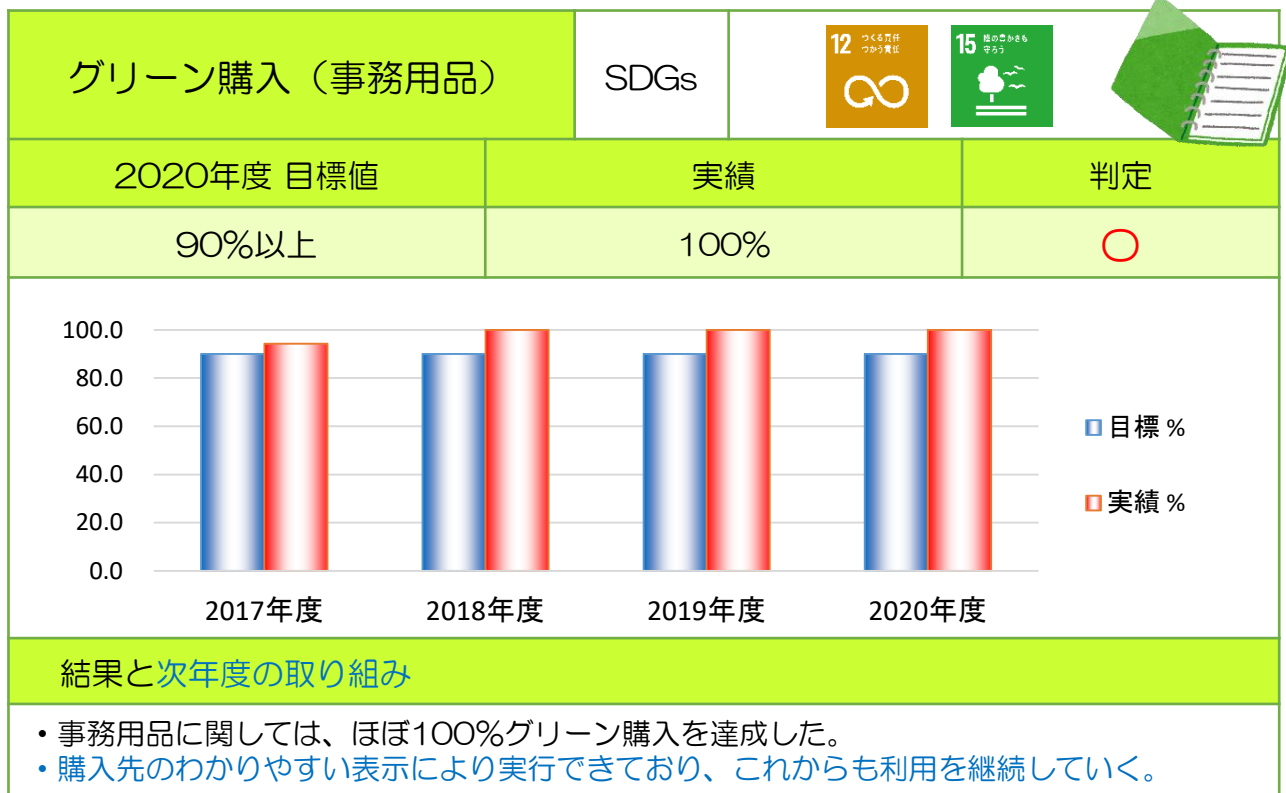
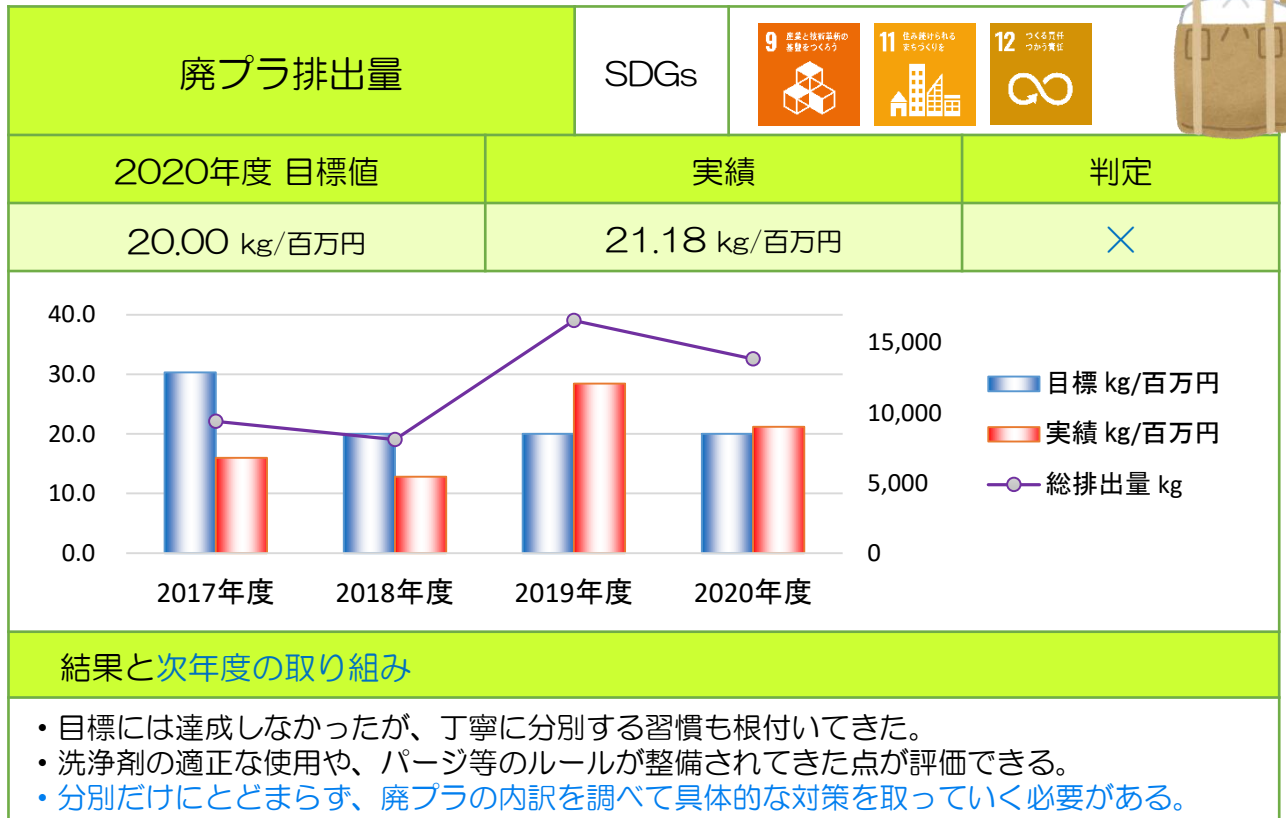
## 6. 環境目標の達成状況

【評価基準】 目標達成 = ○  
目標未達成 = ×



## 6. 環境目標の達成状況

【評価基準】 目標達成 = ○  
目標未達成 = ×



## 7. 環境目標達成のための計画と実績



弊社では、本来業務の達成率を高めることによってCO<sub>2</sub>排出量が低減できるとの考え方の下、EA21活動の目玉として本来業務の改善に重点を置いて取り組んでいます。

### 総務部門

| 目 標                               | 実施項目                                                                 | 実施結果と次年度取り組み                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 経費の節減<br>・電力費<br>・消耗品<br>・改善活動 | ①電力会社との交渉により、経費削減につながる会社と契約する<br>②備品等、比較購入による経費削減<br>③改善活動の金額効果の見える化 | <ul style="list-style-type: none"> <li>電力会社を比較・交渉した結果、電力費が下がったため、契約を切り替える事で大幅な削減が出来た。</li> <li>物品購買時の比較購入を徹底する事で、より安く購入する意識が定着した。</li> <li>社用車2台にドライブレコーダー設置しエコドライブを心がける機運を醸成。</li> <li>他社事例などを研究し、コストダウンへの新たなアイデアを捻出する。</li> </ul> |
| 2. TECHSの有効活用                     | ①原価管理への活用<br>②買掛金管理への活用                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>できることのみでの使用に限られた。</li> <li>何がどこまで出来るか理解していないため、システムを活かしきれていない。</li> <li>システムの研究と結果の共有をし、全員が同じレベルを目指す。</li> </ul>                                                                             |
| 3. 人事評価制度の定着                      | ①前期導入の目標管理制度を定着させ、組織強化につなげる<br>②定期的に使用方法の説明を行う                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>社員の理解度を確認しながら、朝礼等で説明を行った。</li> <li>PDCAによる進捗管理ができた。</li> <li>評価者、被評価者双方の理解度アップにより、制度定着につながった。</li> <li>每期同じ目標の社員もあり、ややマンネリ化してきた。</li> </ul>                                                  |
| 4. 教育の充実と人材育成                     | ①将来の会社経営の担える人材の育成<br>②評価制度を反映した昇格試験の実施                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業大学校2名、ものづくりスクール1名の受講が修了。</li> <li>コロナ以降、訓練・研修関係が軒並み中止となってしまった。</li> <li>社外で行われるセミナー等の情報を入手し、積極的に参加する。</li> </ul>                                                                         |



全体朝礼での人事評価制度説明



ドラレコによるエコドライブ管理







## 7. 環境目標達成のための計画と実績

### 営業管理部門

| 目 標                 | 実施項目                                    | 実施結果と次年度取り組み                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------------------|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 売上・利益確保          | ①売上目標<br>8億7390万円<br>②重点訪問先を設定し積極的に訪問する | <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上は約8億5千万円、計画対比98%であった。</li> <li>・営業訪問については、新型コロナウイルスの影響のため、4月より自粛。ZOOM等を使ったWEB会議を導入した。新規顧客は3件であった。</li> <li>・来期売上目標は9億6000万円とする。</li> <li>・自社の強みを活かしたテーマ、及び新規開拓に力を入れるとともに、コロナ禍に対応した柔軟な営業活動を行う。</li> </ul> |
| 2. 在庫の見える化（TECHS活用） | ①管理ソフト（TECHS）の活用<br>在庫の見える化推進           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・TECHSのカスタマイズ、マスター、工程の見直しを行い、入力環境を整理した。</li> <li>・実棚を行い、在庫とデータの整合性を取った。</li> <li>・全客先の管理をTECHSで行えるよう、課題を解決しながら全社での運用を進める。</li> </ul>                                                                        |
| 3. 納期遵守率100%        | ①納期遵守率確認と問題点の把握<br>②管理不良の調査と対策          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・納期遵守率の平均は87.2%であった。</li> <li>・月毎の納期遵守率を集計し、グラフによる見える化をはかった。</li> <li>・納期遅延の原因を明確にし、対策を実施、納期遵守率の向上をはかる。</li> </ul>                                                                                          |

### 技術部門

| 目 標                 | 実施項目                              | 実施結果と次年度取り組み                                                                                                                                                                               |
|---------------------|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 金型修正回数削減によるムダの削減 | ①金型部門との定期打合せ実施<br>②設計仕様書での成形諸条件提示 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の打ち合わせによる金型進捗、前情報展開の実施により、業務の効率化につながった。</li> <li>・トライ時の収縮率、ガス対策等を見極め、標準書に反映させることができた。</li> <li>・ノウハウの共有と標準化を実施し、設計標準の質を上げる取り組みを行っていく。</li> </ul> |
| 2. 後継者の育成           | ①測定技能の見える化<br>②流動解析等導入による3D設計の簡素化 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・金型設計部門との打ち合せ等によるコミュニケーションにより、設計指導にもつながった。</li> <li>・測定器の導入と講習会を実施し、活用できた。</li> <li>・技術部の設計スキルを高めること、技術標準の作成に力を入れて推進していく。</li> </ul>                |
| 3. 金型不具合の原因追求と対策実施  | ①不具合改善案の見極め<br>②金型製作メーカーごとの特徴明確化  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・金型不具合改善の一環として金型組み上がりチェックシート、金型受け入れチェックシートの運用を開始し、不具合の歯止めとなった。</li> <li>・チェックシートを活用し、間違い、ミスの真因をつかみ、改善することを常識化していく。</li> </ul>                       |

## 7. 環境目標達成のための計画と実績

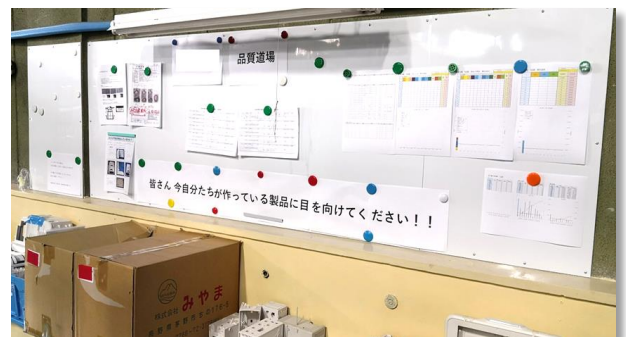


### 品質保証部門

| 目 標                  | 実施項目                                     | 実施結果と次年度取り組み                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------|------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 社内不良・客先クレーム/赤伝の削減 | ①初品検査手順書の順守<br>②工程パトロールの継続実施<br>③品質会議の実施 | <ul style="list-style-type: none"> <li>社内不良金額は達成率84%、総合不良金額は達成率75%と目標を下回り未達となった。</li> <li>品質道場に不良品を掲示することで製造部門へのフィードバックと教育に活用できた。</li> <li>品証部門主幹にて品質会議を毎月開催し、各部門を巻き込んだ品質問題の改善を推進できた。</li> <li>クレームの真因を分析し、各部門、各担当と連携し対策、改善を実施する。</li> </ul> |
| 2. 初期流動管理の実施         | ①見積工程外の追加工程、作業ロスの削減<br>②DR3実施と管理         | <ul style="list-style-type: none"> <li>検査係との連携により、作業見直し、改善を実施し、負荷の軽減に繋げることができた。</li> <li>DR3で止まっている金型の問題を型メーカー、営業課へ指示を出して対策を実施した。</li> <li>DR3を100%実施し、解除までの追い掛けを確実に進める。</li> </ul>                                                          |
| 3. ISO9001活動の推進      | ①外部審査実施とまとめ<br>②内部監査の計画と実施               | <ul style="list-style-type: none"> <li>ISO外部審査計画を立て2019年11月にサーベイランス審査を受審し適合した。</li> <li>社内にて内部監査員教育を実施し、内部監査の目的、役割を再認識することができた。</li> <li>来期もISO審査の計画、準備、是正等を進めるとともに、基準類の改定を推進する。</li> </ul>                                                  |



ホームページの活用【営業管理課】



品質道場を教育に活用し品質改善！【品質保証課】



品質会議の実施【品質保証課】



## 7. 環境目標達成のための計画と実績

### 製造部門

| 目 標                                       | 実施項目                                  | 実施結果と次年度取り組み                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 製造部門の体制作り                              | ①成形交代シフト新編成<br>②製造部点検表の管理             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業者毎の成形機持ち台数、業務振り分けを見える化し、負荷の平準化を行った。</li> <li>・ 点検表の一覧を作成し、役割の明確化を推進中。</li> <li>・ 点検表は役割を明確にして管理することで機械トラブルの未然防止につなげていく。</li> </ul>          |
| 2. 機械稼働率UP<br>目標 68.5%                    | ①機械別稼働率見える化<br>②生産体制の見直しと改善           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 稼働率は前68.8%で目標達成となった。</li> <li>・ 段取者のシフト勤務による効率化に取り組んだ。</li> <li>・ 段取者、ライン作業者の枠を取り払い、課員全員の多能工化による稼働率向上に取り組む。</li> </ul>                        |
| 3. 社内不良目標<br>662万円/年<br>品質異常連絡票<br>5件以下/月 | ①製品・金型問題、<br>管理不良の確認と<br>対策用紙の運用      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 確認と対策用紙の運用により、問題と対策の明確化、他部門へのフィードバックがはかれた。</li> <li>・ 品質異常連絡発行件数は目標に対して7.5件で未達となった。</li> <li>・ 問題点を共有し、引き続き業務改善に取り組む。</li> </ul>              |
| 4. 検査組立係<br>レイアウト変更<br>と5S 活動             | ①レイアウト変更による<br>人・モノの動線改善<br>②製品置き場の改善 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業机を作成し中心に配置、通路を張り巡らせることで動線が大きく改善された。</li> <li>・ 製品置き場の改善により置き場所が明確になり、探すムダが無くなった。</li> <li>・ 歩行距離の短縮、製品の流れを一方向にする等、更なる改善を検討、実施する。</li> </ul> |
| 4. 検査組立係から<br>の作業改善<br>関係職番への<br>フィードバック  | ①負荷の大きい作業の<br>フィードバック<br>②工程の改善       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状の作業の見直しを行い工程の改善ができた。</li> <li>・ 検査治具の修理、耐久性UPなどにより、作業性も向上できた。</li> <li>・ 作業、工程のムダ取りを行い、仕事をラクに効率よく進められる改善を行っていく。</li> </ul>                  |

品質問題 確認と対策



新型成形機の導入（省エネ化）



組立検査係レイアウト変更



## 8. 環境法規への違反・訴訟の有無

以下の法が適用されるため、2020年8月31日に遵守確認を行ったところ下記の結果でした。また、環境に関するステークホルダーからの苦情は、本年度もありませんでした。

| 適用法                        | 法規則内容              | 評価結果                                                                                                                                                   | 判定 |
|----------------------------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 廃掃法                        | 産業廃棄物の処理           | <ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物処理委託契約の有効性を確認し、処理実態に問題はありませんでした。</li> <li>マニフェスト保管に問題はありませんでした。</li> <li>水銀入り蛍光灯の別保管と掲示を実施しました。</li> </ul> | ○  |
| 騒音規制法                      | 射出成形機<br>コンプレッサー設備 | <ul style="list-style-type: none"> <li>測定値は茅野市の騒音規制値内にあります。</li> </ul>                                                                                 | ○  |
| 振動規制法                      | 射出成形機<br>コンプレッサー設備 | <ul style="list-style-type: none"> <li>測定値は茅野市の騒音規制値内にあります。</li> </ul>                                                                                 | ○  |
| 消防法                        | 特定施設の届出            | <ul style="list-style-type: none"> <li>灯油の地上タンクの異常臭発生及び油量異常減少の日常管理を実施し管理状態にあります。</li> </ul>                                                            | ○  |
| グリーン調達基準                   | 特定化学物質の管理          | <ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンマーク商品の購入、顧客要求に基づく特定化学物質非含有材料の使用を推進しています。</li> </ul>                                                         | ○  |
| 家電リサイクル法<br>小型家電<br>リサイクル法 | 廃棄時の記録管理等          | <ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄時の記録を残し、専門業者に廃棄を依頼しています。</li> <li>今期は大型家電の廃棄はありませんでした。</li> </ul>                                             | ○  |
| 労働安全衛生法                    | 特定化学物質障害<br>予防規則等  | <ul style="list-style-type: none"> <li>リスクアセスメント義務化対象となる化学物質についてのリスクアセスメントを実施しました。</li> <li>①メタノール ②アルカリ溶液SK-501</li> </ul>                            | ○  |
| フロン排出抑制法                   | 冷媒漏洩点検・<br>整備記録等   | <ul style="list-style-type: none"> <li>実施しました。</li> </ul>                                                                                              | ○  |





## 9. 代表者による全体の評価と見直し

54期から5カ年の全社ミッションとして、【“唯一無二”強いものづくり技術の確立】を掲げています。その4年目となる今期は、【やりきる力で“NEXTステージ”】のスローガンのもと、やりきる力をUPする組織の活性化に注力し、総務以外の管理職を全員シャッフルする人材配置をしました。今まで批判してきた部署の当事者になることで、その部門の問題点を管理職が明確化し、改善に拍車がかかりました。また今期から【SDGs推進専門係】を新設し、SDGsの取り組みを基軸としてISO9001・エコアクション21を当社流に融合させ、本来業務の改善がCO<sub>2</sub>削減につながることをより明確化していく事にもチャレンジしています。

そして今期、環境目標基準年度を2017年度に再設定し基準レベルを改定しました。製品売り上げ12%の伸び率のところCO<sub>2</sub>排出量はじめ多くの項目において削減目標値をクリアする事が出来たのは組織の活性化による改善効果が出たと評価できます。一方、廃プラ排出量は更に改善の余地が見られます。本来業務の不良率とつながる項目でもあり、来期は徹底した削減を期待します。

組織の再構築に取り組んだことで、【達成し成果を出せるミッション最終年度】へつながる一年となりました。コロナ禍において、次年度への励みとなる一年間の活動を推進できた事、従業員及び弊社を支えて頂いた皆様に感謝したいと思います。

代表取締役 百瀬 真希

2020年度 行動スローガン  
(第57期)

“やりきる力で Next ステージ！！”



工場内の温度上昇を抑えるため、  
工場の周りに木を植えて日陰を作りました。



朝顔のグリーンカーテン



## 10. 環境活動への取り組み



みやま5Sキャラクター

### 5Sと改善活動

2020年度 5S活動スローガン

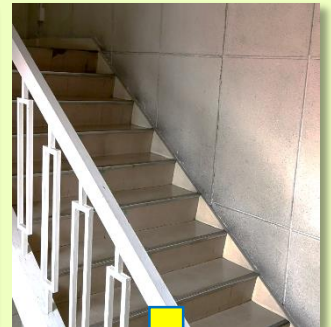
クそまじめな私達が  
リーダーになって  
ン! 笑顔キラキラ★5S活動★

5Sを通じて安全・安心な職場環境を作り、より良い仕事につながるよう、全員参加で活動しています。

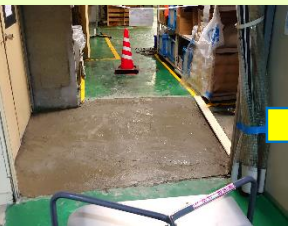
今期は★レイアウト、★保守・保全、★3S活動の3つのテーマを重点的に5Sと改善活動を実施しました。



食堂の床 古くなったタイルの張り替え



階段のタイル張替えと壁のペンキ塗り



通路のデコボコ補修



永明中学校5S工場見学





## 10. 環境活動への取り組み



### 地域社会への貢献

毎年の恒例行事である地域環境維持活動として、地元上原区の上川右岸を守る会等に積極的に参加し、地域へ貢献活動を展開しました。清水川の河川清掃、社員の通勤路である江川橋の定期清掃、周辺道路の雪かき等により、会社周辺の美化にも努めています。



河川の清掃活動



周辺道路のゴミ拾い



集まったゴミ

### 緊急時対応訓練

避難・消火訓練、今期新たに導入した消防ポンプ使用方法の講習会を実施しました。



避難訓練の様子



避難所までの経路確認



屋内の消火設備講習



消防ポンプ取り扱い講習



放水訓練